

の話し合いを続け十二月には新事務所を見つけて臨時理事会、臨時総会を経て一月に正式契約しました。

一月十八日に引越し三月二十四日には同窓会会長を始め役員理事長を訪問し、移転の挨拶歓談しました。

速やかな決定が出来たのも、

榎本良子



題字 初代学長・森本静子先生

第 69 号

発行所 〒166-0012
東京都杉並区和田3-59-11
シーボニア東高円寺3F
一般社団法人
新渡戸文化学園同窓会
電話 03-6382-8614
FAX 03-6382-8615

同窓会e-mail
dosokai_nitobebunka@titan.ocn.ne.jp

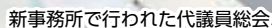
矢内 貴子

印刷所 (株) 英揮ビジネス

湊先代会長、中川悦先生、黒澤教子先生方先輩が長年に渡り蓄えてくださったものがあつたからです。

そこを見ての移転であることを忘れず、今後の同窓会の新たな一歩を踏み出しました。

皆様方の更なるご協力を仰ぎ同窓会を進めたいと思います。



最後に、今回の移転に関して
船木秀信弁護士、矢澤雅彦税理
士、移転先を見つけ、契約に至
るまで様々にご協力いただいた
鈴木事務局長のご主人様に心か
ら感謝とお礼を申し上げます。

場所 10 号館 2 階の予定

場所 10号館2階の予定
(エレベーターがあります。)

11月11日(水) 参加費 13000円

私を育んだ学び舎と食育(その二)

食物栄養学科 二〇二〇年三月卒 高橋慶太

私が二年間通った新渡戸文化短期大学の食物栄養学科はコンパクトな学校ならではの関わる教職員や友人との距離が近く、農業を学べるユニークな授業があることが魅力でした。野菜などの生産物の背景に触れ、包丁の研ぎ方から実践的な調理技術、専門知識までを全力で学び詰め込んだあの濃密な時間が、現在、社会で働く私の確かな土台となっています。また、秋に行われる新渡戸祭では、懐かしい学舎において関わりのある教職員の方々と同級生と会い近況を話すことに加え、後輩が作る様々な料理を楽しむにしております。



地元食材の授業

卒業後は給食受託会社の学校給食調理員となり、世田谷区にある千食規模の小学校に配属されました。検収や計量調理、洗浄といった日々のルーチンワークをこなし、多様な献立に触れながら効率的な動き方を徹底的に叩き込んだ三年間でした。その後1年間の勉強期間を経て、管理栄養士と学校栄養士の資格を取得し、現在は東京都の公務員となり三宅島の小学校に赴任し、三年目を迎え、旬の食材や行事食、郷土料理を取り入れた魅力ある献立づくりに励んでいます。

食育活動では毎週、学校内でのお昼の放送用に食材情報をもとめた原稿を作成しています。地元食材を使用する際は「今日の三宅島産」として紹介し、子どもたちが地域の農業や水産業への理解を深められる工夫をしています。現場では調理員と緊密に連携し、衛生管理を徹底しながら、安全で美味しい給食づくりを追求する毎日です。

島しょ地区での仕事は子どもたちとの距離が非常に近く、食べた反応がダイレクトに返ってくるのが大きなやりがいです。子どもたちは本当によく食べてくれ、毎日残菜がほとんど出ないことも私の大きな励みになっています。また、島での暮らしはプライベートも充実しています。内地のように物や人で溢れていない分、豊かな自然を心ゆくまで満喫できます。夏にはダイビングやシュノーケリングといった海のアクティビティを存分に楽しんでいます。魅力あふれる島での仕事と暮らしに少しでも興味がある方は、ぜひ一度、三宅島へ遊びに来てください。

森本晴生名誉会長を悼んで

森本光生(監事)



森本晴生先生遺影

昨年二〇二五年一〇月二日に、森本晴生が長い入院生活の後、家族の見守りのうち逝去しました。享年八十一歳でした。

故人は、私の二歳年下の弟で、終戦前には山形県天童と一緒に疎開。戦後、東京文化幼稚園、小学校、麻布中学、高校と私の二年あとを進学してきました。弟は早稲田大学理工学部に進み、理学修士まで修めました。企業研究所の勤務を経て、一九七二年に、父森本武也の勧めで、祖父森本厚吉の創立した東京文化学園に転職し、経営学修士も習得し、学園に献身しました。一九九九年四月より二〇二〇年三月ま

で、学園の短大校長、中高校長、法人理事長、法人学園長などを歴任し、二〇一九年六月からは亡くなるまで、名誉学園長でした。同窓会では、会長を務めていましたが、会長を退いてから、名誉会長に推戴されました。



森本兄弟
新渡戸稲造先生銅像前にて

故人は、中高時代に毎夏二週間、東京YMCA主催のキャンプ「野尻学荘」に参加し、大学時代には指導者となり、多大の影響を受けました。この経験が、故人の教育に対する原点だと思います。その影響でしようか、長野県御代田にあった浅間高原寮のキャ

ンプ場管理は活き活きと楽しんでおりました。

二〇二二年三月発行の新渡戸文化短期大学機関誌『文化生活』第五十一号に「『Again』と題する森本晴生の論考が活字化されています。一九二八年に本校の校長に就任された新渡戸稲造先生は、一九三三年にカナダで客死されます。遺徳を偲ぶため、学園では、新渡戸記念館を建設しましたが、落成したばかりの記念館は火災にあいます。このとき森本厚吉校長は「ゴッダグ」と皆を鼓舞し、そして再建した新渡戸記念館が今日でも教育の場として学園に残されています。故人は、この歴史の一コマを思い起こして、遺筆の題としました。

逝去の前日に、私は弟と対面の時が持てました。会話は叶いませんでしたが、手を取って祈ることができました。没後に、故人が所属していた聖パウロ教会にて「偲ぶ会」を開催しました。同窓会からは見事な御供花をいただき感謝しております。



同窓会からの献花

臨床検査の現場から (第十回)

祖母から継がれる臨床検査技師への道

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 内視鏡部(本人勤務先)

伊東恵子(本人)(令和六年卒) 伊東暁子(祖母)(昭和四十二年卒)

新渡戸文化短期大学を卒業し現在虎の門病院で働いております。祖母も臨床検査技師であり、同じく東京文化医学技術学校出身です。幼少期から祖母の仕事は何となく聞いていたことを覚えています。

検査は患者様を知る最初のデータであり、医療においてとても重要な役割を担っていると子供ながらに検査の魅力を感じていました。祖母の働いている様子を聞いて臨床検査技師を目指そうと決めました。

母校の歴史は長く、検査の進化とともに生きてきた学校であると思っています。また実習先や就職先とのご縁も深く、今までの卒業生の軌跡が生きている学校であると感じたため受験を決意いたしました。

母校で過ごしていた時間は本当に様々なことを吸収させていただきました。話しやすい先生ばかりで、悩みに対してもすぐ時間を作ってくれてくださいました。就職の際の不安や迷いをぶつけた時も真摯に向き合ってくださり、自分が納得できる学生生活を送ることができました。



虎の門病院 内視鏡部で働いている筆者(右)

今現在私がこうして働くことができてるのは母校の先

生方や今まで卒業された先輩方の活躍があつてこそだと実感しております。

母校の先輩方が就職先での

母校への受験生推薦にご協力を減免制度あり

次代の医療を支える臨床検査技師の育成に向けて

新渡戸文化短期大学 臨床検査学科 微生物検査学研究室 教授 西山宏幸

リブラ会(臨床検査学科同窓会) 幹事長 小栗豊子

新渡戸文化短期大学臨床検査学科は、一九五二年、我が国初の臨床検査技師養成施設として東京文化短期大学内に医学技術研究室を設置したことが始まりです。その後、東京文化医学技術学校、東京文化医学技術専門学校、東京文化短期大学を経て、二〇一〇年に新渡戸文化短期大学となりました。本学科設立には、

本学園の橋本寛敏理事長(聖路加国際病院)が緒方富雄、坂口康蔵、加藤勝治の諸先生とともに発足させた「臨床病理懇談会」があります。同会の重要課題であった検査技師養成について、森本静子学長、森本武也副学長に提言し、その実現に尽力されました。

当時の臨床検査は、医師や看護師が診療の合間に行うか、研究室単位で担当者を養成する体制が主流でした。人命に関わる重要な職務であることから学校教育による養成が進められ、一九五八年の衛生検

働きぶりで実績を残されてきたからこそ、新渡戸文化短期大学というブランドが信頼されているのだと思います。

査技師法施行時には、本学の教育カリキュラムが全国のモデルとなりました。

本学科設立当初の教育は、手作業による検査技術の習得が中心でした。現在では自動分析装置や遺伝子検査、AI技術の活用が進み、求められる知識や役割は大きく広がっています。しかし、「正確な検査によって患者さんの命を支える」という使命は、七十年以上を経た今日も変わることなく受け継がれています。

臨床検査技師教育(発祥の地)の石碑
本学高円寺キャンパスの校庭に設置されている。河合忠先生(臨床検査医学)と本学卒業生の寄贈による

そのため現代の臨床検査技師には、高度な検査技術に加え、検査結果の意義を理解し、医療チームへの的確に伝える能

力が求められます。診療を支える重要な専門職として、誠実さと責任感、そして生涯にわたり学び続ける姿勢が欠かせません。

一方で、近年は臨床検査技師を志す若者が減少し、本学科においても入学者確保が大きな課題となっています。医療を支える重要な専門職でありながら、その魅力や社会的意義が十分に伝わっていない現状を憂慮しております。

本学では、学校法人新渡戸文化学園が設置する学校の在校生および卒業生の子・孫・兄弟姉妹を対象とした入学金軽減制度(入学金三〇%減額)を設けております。未来の医療を担う人材育成のため、ご家族やご親族の皆様の進路選択の際に、本学を候補の一つとしてお勧めいただけますと幸いです。

恩師である小栗豊子先生と本学で再会いたしました。
左より、高嶋真理、小栗豊子、西山宏幸(筆者)、蜂谷敦子

黒沢教子先生を偲ぶ

一月七日に黒沢教子先生が天に召されました。昨年信男先生が先に逝かれると、とても寂しがっておられたそうです。

さようなら 教子先生 卒業生からのメッセージ

●高校生の時には、風紀に大変厳しい方でしたが、大人になってあの時の教えで恥ずかしい思いをせずに過ごせています。

教子先生有難うございました。ご冥福をお祈りします。

●新聞記事を要約し一行にまとめるという授業で、内容と文字のきれいさが大切との指示があり、亀井先生に教えて頂いた文字で記入したら、よくまとまっているし文字がきれいで読みやすいとほめてくださいました。

先生との素敵な思い出です。

●私は、セーラー服のネクタイの結び方やスカート丈、髪型など呼び止められて注意されたので、なるべく見つからないようにしていました。大人になるとあの時のご指導のお陰で道を踏み外さずにいられたことに気づき、感謝しています。

●同窓会での積極的な活動と後輩へのご指導の賜物として

今の同窓会があります。長い間のご貢献に感謝するとともにご冥福をお祈り申し上げます。

●信男先生の個展では、傍らでにこにこ穏やかな表情で接客し、学校とは違う姿がとても素敵でした。天国でもお二人仲良く過ごせますようお祈り申し上げます。



教子先生は、女子経済専門学校の卒業生で、長年に渡り、中高の社会科学の教師をされていました。3日の大切さ常々伝え、同窓会でもその実践を推奨されました。教頭、校長として、週五日制の導入や中高一貫を打ち出し、二年区切りのテーマをもって、その年齢に合った教育を模索、実践されました。平成四年一九九二年三月十八日付「中高便り九十号」に掲載された記事を要約すると、この時の実践の様子が見えてきます。

中高一貫教育について

黒沢教子

本校は、国際的活動をされた新渡戸・森本両博士を中心しに創学されたため、国際社会で信頼される国民の資質として、知に走り過ぎぬ全人教育、精神のあり様を求める人格教育が打ち出され、受け継がれてきていることは、今日に至って極めて幸甚なことである。

今回、私立だからこそできること、東京文化ならではの教育、それを念頭におきながら、中高一貫教育とニーズに応える進路の拡大の達成を目指して、一貫教育の体制を改めました。

これは、中・高の区切り感覚を一掃し、六年で育てることを徹底することにあります。

最初の二年（前期）を本校教育の基礎期とし、中期は充実期とします。学習面では、基礎的領域・方法を一段高め自学自習の態度、習慣を確立させます。

後期は応用発展期とし、人間としての生き方、あり方を考えつつ社会への視野を拡大させて具体的に進路に対応する能力を養成するために学習内容は類型で分かれて行ない、併せて学校集団の中では

新幹事紹介

若い皆さんの活動参加が同窓会活動の活性化には必要です。同期会などの開催や同窓会催事にも是非ご参加ください。

下級学年の範となるべき立場であることを理解させながら指導学年としての任務を通して社会人としての責任のあり方に気づかせます。本校の精神・目標の自己の達成を図ることにより中等教育のまとめとします。

この実践より、生徒数が増えたことも先生の功績です。



高校



小学校



中学校

久しぶりの小羊会開催

コロナ禍以降開催されなかった小学校の同窓会「小羊会」を九月十三日に開催しました。

今までは、小学校のランチルームに集まりましたが、今回は中野のマンションのパーティールームをお借りしての実施でした。

一期生から、七十二期生の約百人が一堂に会し、再会を喜び合い、軽食をとりつつ尽きることのない思い出話の花が咲きました。

また、懐かしい先生方の出席もあり、あちこちで歓談する明るい笑顔に満ちた会でもありました。



会の終わりにには会場の片づけなどを手伝ってくれた同窓生の姿に3Hの教えの賜と頼もしく思いました。今年度は、小学校の新渡戸祭の日程に合わせて実施しますので是非ご参加ください。

日時 二〇二六年十月三日(土)
場所 十号館二階
会費 二十歳以上 二千元

はたちを祝う会

三月二十二日に中野のお店にはたちを迎えた卒業生が三十人ほど集まって「はたちを祝う会」を開催しました。それぞれの道に進みこれから大人として歩んでいく卒業生たちの未来が希望に満ちたものでありますようにお祈り申し上げます。



〇の会が開かれました



昨年の〇の会では、はつらつとしたおしゃやかな先輩方にご参加いただき、たくさん笑顔と思い出話がつきることなく楽しいひと時となりました。本年度も奮ってご参加ください。

二〇二五年度にお知らせをいただいた物故者
謹んでおくやみ申し上げます

年度・校氏名	(旧姓)
S 21 専 小早川 やす	(本郷)
S 24 専 黒澤 教子	(小島)
S 25 専 塩沢 静江	(齊藤)
S 25 専 山田 豊子	(齊藤)
S 17 女 高 橋 節	(石川)
S 21 女 等々力 礼子	(山田)
S 21 女 中川 久美	(小柳)
S 22 女 浅川 朝子	(尾崎)
S 23 女 興水 奈加子	(海老沢)
S 24 女 穴水 栄	(尾崎)
S 29 女 神西 知子	(海老沢)
S 31 臨 片岡 静子	(佐藤)
S 31 臨 船久保貴美子	(佐藤)
S 32 臨 千葉 幸子	(杉山)
S 36 臨 石渡 恕子	(大宮)
S 36 臨 加藤 房子	(木村)
S 41 臨 荒井 綾子	(池田)
S 29 短 佐々木 光子	(河西)
S 30 短 深瀬 和子	(石川)
S 31 短 国井 典子	(関)
S 32 短 村山 孝枝	(高橋)
S 32 短 池間 洋子	(佐々木)
S 34 短 斎木 信子	(奥田)
S 35 短 齋木 信子	(奥田)
S 36 短 松井 昭子	(清水)
S 37 短 岩崎 郁子	(武子)
S 32 臨 藤原 由美子	(吉田)
S 54 短 中武 麻子	(佐藤)
S 60 短 八重垣 京子	(菅野)
S 25 高 新倉 喜代子	(菅野)
S 27 高 佐久間 美智子	(浜地)
S 29 高 窪田 紗智子	(森田)
S 31 高 榎本 寿美子	(勝田)
S 32 高 保坂 早紀子	(熊谷)
S 36 高 高木 久子	(中倉)
S 38 高 山本 加奈	(樋口)
S 39 高 鴨下 宏子	(会田)
S 39 高 桜井 妙子	(会田)
S 44 高 小池 圭子	(亘)
S 44 高 桜井 美恵子	(亘)
S 49 高 三輪 乙紀子	
S 13 高 宮下 真穂	(菊地)
S 30 高 江波戸 紀子	(石川)
S 31 高 北岡 雅子	(石川)
S 36 高 小林 晴生	(新山)
S 37 高 福田 芳子	(石井)
S 44 高 李 裕栄	
H 08 高 加藤 恵神子	(安西)

※亡くなられた方がいらつ
しやいましたら同窓会に
卒業年度、卒業校、氏名(旧
姓)をお知らせください。

江波戸紀子先生

小学校 教諭

江波戸紀子先生は、東京文
化小学校の卒業生であり小学
校の教員でもありました。

小学校三・四年生の時に担
任をしていただき、たくさん
の思い出があります。

美人で優しくて品格があ
り、謙虚ながら知識と見識に
溢れていて、人として歩むべ
き道を教えていただきました。

新渡戸文化小学校教頭

安蔵 素乃

小池 圭子さん

昨年夏の暑い日に旅立たれ
ました友の背中をお見送りす
るのはとてもつらいことです。
心よりお悔やみ申し上げます。

同期 斉藤 照子

中武 麻子さん

四月五日に先輩は天国へ旅
立られました。幼稚園から短
大まで、文化っ子でした。先
輩との思い出もたくさんでき
ました。また、同窓会の活動
にもご参加くださいました。
どうぞ安らかに眠りくだ
さい。合掌

三浦 貴子

来年は学園創立百周年

本学園の沿革

一九二〇年森本厚吉主幹、
吉野作造・有島武郎顧問に
より文化生活研究会の発足に
端を発し一九二五年に文化ア
パートメント竣工、開館、更
に一九二六年文化普及会、女
子文化大学設立を決議。同
十二月女子文化高等学院に変
更。

一九二七年四月女子文化高等学
院開校。(森本静子院長、校舎は、
文化アパートメント
敷地内木造三階盾二〇〇坪)



開校当時の文化アパートメント

この年の十二月女子経済専
門学校を申請、翌年三月校歌
制定。四月女子経済専門学
校(新渡戸稲造校長、森本
厚吉副校長兼理事長)

この開校から来年で百周
年を迎えます。

この長い歴史の中で、専
門性に特化した学びの場や
学制によって学校の在り方
などの変化はあるものの、
東京文化学園から現在の
新渡戸文化学園に繋がる百
年がありました。

綿々と繋いできた同窓生
の絆を想い、卒業生の集ま
りである同窓会として、百
年のお祝いの会をしたいと
思います。是非、この会へ
のご出席をお考え下さい。

日 時 二〇二七年

五月二三日(日)

十三時三〇分

会場 市ヶ谷私学会館

アルカディア市ヶ谷富士

会 費 一五、〇〇〇円

詳細はホームページでご
確認の上お申込みください。

魅力ある同窓会活動

参加者求む！

同窓会の高齢化に伴い、
企画催事などがマンネリ
化しがちです。
ボランティアではありません
ですが、ご興味・活躍いた
だける方、一緒に魅力的
な同窓会にしませんか？
是非一報いただければ
幸いです。

ご寄付御礼

二〇二五年度、同窓会活動充実のためご寄付（一口千円）をお願いいたしましたところ、百人の会員各位より合計一六二七万五八五円のご寄付を頂きました。以下にお名前を記して感謝の意を表します。
※各学校の同窓会活動費を本部にまとめたものと学園からの引越し費用が含まれます。

学園からの寄付案内について

同窓会では例年通りの寄付（一口千円）をお願いしていますので、ご自分のできる範囲でのご寄付をお考え頂ければ幸いです。



日帰りバス旅行 那須田川啓三美術館にて

- 伊藤 一石 石井 池田 池田 池田 浅野 浅井 藍美
藤ノ川 川井 井田 田田 田田 野井 井美
倉 観 恵 ふた 須 郁 明 眞 節
健 櫻 子 子 子 子 子 子 子 子
太 子 子 子 子 子 子 子 子
- 大類 榎谷 浦井 宇都宮 氏家 今井 今井 井上 稲田 伊東
敏久 純悦 幸 弘 孝
子 子 子 子 子 子 子 子 子
美 美 美 美 美 美 美 美 美
- 吉瀬 菊地 神田 川島 上条 加藤 加藤 葛城 落合 奥住 岡部
本 昌 亮 貴 和 朋 栄 洋 麗 捷 久
絵美 子 介 美 代 子 理 子 子 子 子 子
利智 子 子 子 子 子 子 子 子 子
- 柴田 佐々 坂小 小 小 後 栗 栗 清 木
田々 尾 林 林 場 藤 原 原 野 野
木 木 木 木 木 木 木 木 木
美 美 怜 芙 佐 美 敏 淑 智 恵
保代 啓 菜 美 都 佐 子 子 子 子
子 子 子 子 子 子 子 子 子
- 手塚 千田 田高 陶須 鈴鈴 杉杉 清
塚葉 原所 橋山 藤木 木前 浦水
- 京春 身隆 陽留 瞳洋 弓加 由弥
子奈 知子 子美 子子 子子 子子 子
子 子 子 子 子 子 子 子 子

2026年日帰りバス旅行のお知らせ

東京スカイツリー天望回廊と矢切の渡し
柴又散策と寅さん記念館で過ごす
昭和レトロな一日を過ごしませんか？
昼食は老舗のうなぎです（苦手な方は要相談）



参加費 13,000円
矢切の渡し・スカイツリー展望回廊
寅さん記念館等各種入場料
交通費・昼食代すべて込み

日時：2026年11月11日（水）
集合・解散場所：新宿工学院前
集合時間：午前9時



<申込み>
ゆうちょ銀行
記号 10150
番号 91812891
「一般社団法人 新渡戸文化学園同窓会」

<締め切り>
2026年9月30日（水）



- 各渡 和吉 吉吉 吉吉 横山 山山 山山 山山 山山 山山 柳矢 望村 宗三 三松 前本 堀古 福福 平原 早濱 長畑 能西 新永
校部 田村 松野 野川 山田 田田 田中 崎崎 口岸 田内 月上 村橋 沢田 田間 江川 田田 尾田 船田 谷村 恭洋 由
同睦 佐早 和百 雅紘 卯扶 サ エ 裕愛 芳イ 早和 貴義 真サ 良訓 康節 政和 明照 悦幸 雍子 慎二 早佳 生子 紀
窓子 保苗 子々 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子
会里 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子

2026年3月卒業 幹事名簿



小学校
石橋 美来
成澤 光基
小玉 駿斗
小林 滂子
綿谷 恢杜
高橋 真那子
浅野 奈利子
伊藤 涼芭
松本 天飛
上野 天飛
昌子 天飛

中学校
為 健太郎
西原 瑞騎
青木 陽向
中野 快星
飯塚 夏生
池永 彩乃
八木 佑里花
峯岸 芽衣
短大・臨床検査学科
藤 向日葵
後藤 早紀

今年の各校卒業生の中から引き受け
いただいた幹事の皆様です。同窓会の活
動のご理解と多くのアイデアにより、
多岐にわたるご活躍、ご尽力くださるこ
とを期待しています。

2025 年度会計報告 (要約)

貸借対照表		経常増減の部	
Ⅰ．資産の部		経常収益	
流動資産の合計	139,740,152 円	年会費収入計	4,615,000 円
固定資産の合計	1,407,323 円	寄付金収入	16,270,585 円
資産合計	141,147,475 円	事業収益	109,600 円
Ⅱ．負債の部		雑収益	6,430,322 円
流動負債	21,510 円	経常収益計	27,425,507 円
固定負債	0	経常費用	
負債合計	21,510 円	事業費	4,933,111 円
Ⅲ．正味財産の部		管理費	8,345,291 円
正味財産合計	141,125,965 円	経常費用計	13,278,402 円
負債及び正味財産の合計	141,147,475 円	当期経常増減額	14,147,105 円

事務局だより

編集後記

今年、地震が頻発し、落ち着かない日々が続いている。編集の最終段階になって二つの台風が東京に近づくとニュースが飛びこむ。欧州では、熱波により気温が四十度を超え。本号が届く八月上旬には東京も猛暑になるのかと気が揉める。一般社団法人となった私達の同窓会は、二月中旬には新しいオフィスを持つことになって、一転機を迎えた。本誌は、同窓会と会員を結ぶ重要な絆、身を引き締め、勤めを果たしたい。来年二〇二七年には母校新渡戸文化学園が創立一〇〇周年の節目を迎える。母校の益々の発展を応援したい。

(MM)

☆ 氏名・住所などの変更届
氏名には必ずフリガナを書いてください。
登録番号・卒業学校・住所・電話番号も必ず
記入してください。

☆ 会費納入のお願い
振込には振込用紙をご利用ください。ネット
バンキングもご利用いただけます。指定用紙
以外の場合は、同窓会会員番号を必ずご記入
ください。
重複して納入された場合は、返金しかねます
のでご了承ください。

☆ 同窓会の個人情報の取り扱いについて
個人情報を適切かつ厳重に管理し、破壊、改
ざん及び漏洩が起きないように安全対策を講
じております。



(Facebook)

@DOSOKAI_NITOBEBUNKA
(Instagram)

同窓会事務局開室時間
毎週 月・金
10:00～15:00
夏季、冬季休業あり